

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 12 日(2022.7.12)

【公開番号】特開 2021-78942(P2021-78942A)

【公開日】令和 3 年 5 月 27 日(2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2021-024

【出願番号】特願 2019-210393(P2019-210393)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 4 日(2022.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示の表示結果が特定結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

始動領域と、

可変手段と、

遊技者の操作に応じて遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射手段と、

前記遊技領域において遊技媒体が流下可能な第 1 流下経路と第 2 流下経路とのうち、当該第 2 流下経路に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示を用いて遊技者に促す案内表示を行う案内表示手段と、

30

遊技媒体を貯留可能な貯留部と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通路形成部と、

前記誘導通路形成部の上面を覆うように設けられたねじ落下制限部と、

を備え、

前記払出部から払出された遊技媒体が前記始動領域に進入したことに基づいて前記案内表示を表示可能であり、

40

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部上に滞留可能に構成され、

前記案内表示手段は、前記有利状態中において前記可変手段の画像を用いて前記案内表示を実行可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

手段 A の遊技機は、
 可変表示の表示結果が特定結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状態に
 制御可能な遊技機であって、
 始動領域と、
 可変手段と、
 遊技者の操作に応じて遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射手段と、
 前記遊技領域において遊技媒体が流下可能な第 1 流下経路と第 2 流下経路とのうち、当該
 第 2 流下経路に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示を用いて遊技者に促す案内表
 示を行う案内表示手段と、
 遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
 上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通
 路形成部と、
 前記誘導通路形成部の上面を覆うように設けられたねじ落下制限部と、
 を備え、
 前記払出部から払出された遊技媒体が前記始動領域に進入したことに基づいて前記特定表
 示を表示可能であり、
 前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ね
 じ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部
 上に滞留可能に構成され、
 前記案内表示手段は、前記有利状態中において前記可変手段の画像を用いて案内表示を実
 行可能である、
 ことを特徴としている。

10

20

30

40

50

手段 1 の遊技機は、
 可変表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状
 態（たとえば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 ）であ
 って、
 遊技媒体（例えば、遊技球 P ）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 2 0 1 ）と
 、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 2 0 0 ）と、
 上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘
 導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 2 0 2
 や第 2 誘導通路形成部 2 0 4 ）と、
 前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバー
 体 3 1 0、第 2 カバー体 3 2 0、第 3 カバー体 3 3 0 ）と、
 を備え、
 前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、N
 1 1 ~ N 1 6 ）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長
 孔 3 1 6 A ~ 3 1 6 C、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C、凹部 3 3 6 ）が設けられ（図 2 2、図
 2 4 参照）、
 前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を制
 限するための特定制限部（例えば、孔部 2 7 1 A ~ 2 7 1 H ）が複数設けられており（
 図 1 1、図 1 2、図 2 7 参照）、
 前記所定制限部は、前記カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、
 N 1 1 ~ N 1 6 ）を該カバー部上に滞留させることが可能な第 1 滞留部（例えば、長孔 3
 1 6 A ~ 3 1 6 C ）と第 2 滞留部（例えば、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C ）とを含み、
 前記第 2 滞留部は、前記第 1 滞留部よりも前記払出部（例えば、払出装置 2 0 0 ）に近い
 位置に設けられ、該第 1 滞留部よりも大きく（ $L 2 2 B > L 2 1$ ）、
 さらに、

遊技者の操作に応じて遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射手段と、
前記遊技領域において遊技媒体が流下可能な第 1 流下経路と第 2 流下経路とのうち、当該
第 2 流下経路に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示を用いて遊技者に促す案内表
示を行う案内表示手段と、を備え、
前記案内表示は、第 1 案内表示と第 2 案内表示とを含み、
前記案内表示手段は、
前記可変表示の表示結果が前記特定表示結果となった後の所定期間において、前記有利状
態の制御の開始を報知する開始演出の一部である当該有利状態の名称表示が完了する前か
ら、前記第 2 案内表示を行い、当該有利状態の名称表示の完了以降に前記第 1 案内表示を
行うとともに前記第 2 案内表示を継続し、
前記所定期間の後の期間において、前記第 1 案内表示を終了する一方で前記第 2 案内表示
を継続し、
前記有利状態の制御が終了した後の特別状態において、前記第 2 案内表示を継続する
ことを特徴としている。
この特徴によれば、落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを防止すること
ができる。また、遊技者を促す指示を好適に実行することができる。

10

20

30

40

50